

平成26年度 阿賀野市社会科部 活動報告

部長 羽田野 謙一

1 研究主題 地域素材を生かし、学力向上を目指した社会科の授業づくり

2 研究の概要

- 4月22日（火） 第1回部会 組織の構成・役割・事業計画の作成
- 5月27日（火） 第2回部会 発掘調査見学「石船戸遺跡」
- 11月25日（火） 第3回部会 焼き物体験 庵地焼き「旗野窯」

3 研究の実際

(1) 発掘調査見学「石船戸遺跡」

阿賀野市堀越地内で発掘調査を実施している石船戸遺跡から県内では最大の「遮光器土偶（しゃこうきどぐう）頭部」が出土、発見された。そこで、社会科部では、縄文時代晩期における歴史学習の貴重な教材として有効活用できるようにするため、阿賀野市役所生涯学習課文化行政係の古澤妥史様から発掘調査の仕方や様子、調査結果から考えられる縄文人の生活の様子について分かりやすくご説明をいただいた。特に、出土品から推測される当時の祭りの様子や住居やお墓のづくり、地層から推測される地震についてのお話は大変興味深かった。



(2) 焼き物体験 庵地焼き「旗野窯」

地域の伝統工芸である「庵地焼き」で有名な旗野三姉妹の旗野佳子さんを講師に招聘し、「庵地焼き」について説明していただいた。「庵地焼きでとても重要なのが土作り。丹念に足で土を踏みながら丹精こめて土を作っていく。最近では、窯元で土作りからやっているのは非常に珍しい。」と語る旗野さんの言葉から伝統を大切にしていることを強く感じた。また、非常に貴重な「のぼり窯」も見せていただいた。会員一同その雄大さに圧倒された。さらに、焼き物体験にもチャレンジさせていただき、世界でたった一つの茶碗や湯飲みを作ることができた。

4 成果と課題

私たち社会科部員は、大船戸遺跡の発掘調査の見学や庵地焼き体験など貴重な体験を通して、たくさんの学びや感動を得ることができた。そして、これまで以上に「子どもに興味や関心をもたせ、追求させてみたい。地域の文化や伝統のよさにふれ、学ばせたい。」という思いを強くした。

今後は、子どもたちに「社会科は楽しい。」と思わせるような魅力ある授業を行うために、学習の導入時における興味や関心をもたせるための教材の提示の仕方を工夫したり、学びを深めていくための学習問題の作り方や指導計画の立て方について検討したりしていく。